2014/12/03

海怪ウォッチ班議事録

参加者：みのりさん、まみこさん、てらちゃん、やまみ

文責：やまみ

PP教員多忙→生徒との関わりに悪影響

　　**→**授業以外の職務が多い

　　　（OECD：特に課外活動・一般事務）

　　↓この状況に対して

 国：外部委託使用（2008年から３か年計画）

⇒外部委託をしようとしているけど、できていない

　（教員の労働環境に変化なし）　　　要エビ海外と比べたら低い、とは言える

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　大阪のがいぶ委託に対して…

⇒なぜ？？

先行研究

　・○○

　・△△

　・□□

⇒ちがう！または根本的要因ではない！

仮説 ⇒国は外部委託を推進することで教員の労働環境改善を目指しているが、それができていないのは、日本の伝統的教師観によって学校内で抱え込みが生じているため

主張

管理者

↙　　↓　　↘

教師　教師　教師

外部連携

↑

情報連携

連携体制の整備

教育委員会

学校

サポート

* 連　　携

抱え込み！

☞ここから抜け出せないのが現状！

教員・保護者に共有された日本の教職観

国は、抱え込みをやめて連携しろと言うが、抱え込みを生じさせているのは伝統的な教職観なので、教師からの発信が十分になされず、外部連携につながらない。

検証に必要なこと

①学校内で抱え込みが起こっていることを証明

・文科省は連携を進めようとしていて、連携先も十分に確保可能（？）なことを証明

・それにもかかわらず外部委託をしていないことを証明

・外部委託をしようとしない理由の教師アンケートがあればいいなあ…

②日本の伝統的教師観（聖職：教育は教師の責任）によって抱え込みが生じていることを証③海外で外部連携を積極的に行っていて教師の負担が軽減されている国を提示。その国の伝統的教師観が日本のそれとは異なるものであり、それが外部連携を促進している要因であるかもしれないことを示唆。

日本の教職観＜教育は教師の責任＞

久富・教師の＜全面性＞

　　・責任範囲の不明確さ

　　・直接・個別的な親からの責任追及

　　・説明責任＝責任追及にどううまく対処するか

　　・教育官僚機構は「厚生な改革者」の容貌

⇒教育の批判を一身に受けることになる教師は

問題を外へ発信することをためらってしまう

→外部との連携につながらない

⇒あれ！？でもこれ委託じゃなくて連携じゃない！？

現在の連携の在り方における問題点

学校側の要因

・学校の意識が閉鎖的

・関係機関の連絡先を日頃から知らない

・保護者から責任の放棄と思われることを恐れすぎている

保護者

・学校の指導に過度の依存

関係機関

・学校に必ずしも協力的でないこともある

⇒連携に係る判断は個々の教員の判断に委ねることなく教員間の共通理解の下に学校としての判断に基づくことが必要

今までの宿題では「委託」と「連携」を混同していた！！

そこで…

宿題

1. 委託…山見(seeing mountain)、かいさん(field river)

・委託の整備状況（誰が決めるのかなど）・問題点…

1. 連携…てらお(temple tale)、かんなちゃん（pond rice field）

・連携できていないといっている資料

・具体的にどことの連携が言われているか

・連携で進めるにあたってのＰＰ

1. 全体的論の流れ…まみこさん(god mountain)、みのりさん(center cercle)